

日本とウクライナ 原発事故を学ぶ

東京・調布で学習会

「チェルノブイリとフクシマ」と題する学習会
多摩川児童館で行われ、

30名ほどが参加した。



右から安部愷三さん、堀江則雄さん、古川博資さん

の古川博透資会長の司会のもと、まずはチェルノブイリ原発事故当時モスクワにいた堀江さんが、自らの体験を交えて語り、続いて、原発問題に長い間取り組んで来た安部さんが、化学的な側面からアプローチした。

2人の講演後の質問、意見交換の時間は、参加者の「手が上がりっぱなし」の状態で、この問題に対する関心の高さが伺われた。為政者はいつの時代にも事実を隠す「放射線ヨウ素はウランより怖い」などの感想が寄せられた。

懇親会には参加者の半数以上が参加した。

日本ユーラシア協会調布狛江支部、同世田谷支部、多摩川九条の会の共催で、講師は、協会常任理事でジャーナリストの堀江則雄さん、

(写真同じく協会常任理事で理学博士の安部愷三さんの二人。調布狛江支部

バル
開催